



創立40周年前後の土橋中学校の歴史

校長 井之上 良一

本校の創立40周年前後の国内における大きな出来事として、真っ先に想起されるのは、年号が「昭和」から「平成」へと改められ、新しい時代が幕を開けたことでしょう。当時、官房長官を務めていた故小淵恵三元総理が「平成」という墨書を掲げ、国の内外にも天地にも平和が達成されるという意味が込められており、新しい時代の元号とするのにふさわしいと述べた際の映像は、今なお多くの人々の心に焼き付けられているのではないのでしょうか。



新元号「平成」発表会見

さて、平成元年当時の土橋中学校は、どのような状況だったのでしょうか。『学校要覧』と『学校沿革史』を手がかりにしながら、まずは数字で当時の様子を振り返ってみたいと思います。『学校要覧』によると、当時の生徒数は49人、教職員数は11人となっています。この2年後まで剣道部は存続していますが、それ以降は、バレー部とソフトテニス部だけの時代になっていきます。生徒数の減少や球技人気の高まりがその背景にあったのではないかと思います。ここから約10年、生徒数は50人弱で推移していきます。創立30周年前後を「生徒100人時代の土橋中」と捉えるならば、創立40周年前後は「生徒50人時代の土橋中」と位置付けることができるのかもしれませんが。

当時の校長先生は、第12代山口徳二先生（平成元年4月～5年3月）、前任は濱村將曹先生（昭和61年4月～平成元年3月）で、後任は松下純一先生（平成5年4月～7年3月）です。濱村先生の在任中は、「山坂達者」実践推進校に指定され、体育授業の充実がもとより体力・気力づくりを推進する施設として校内にサーキットコースが整備され、その成果が昭和63年2月に発表されています。それに先立つ昭和62年2月には、県PTA連合会委嘱PTA研究公開も本校で開催されていることから、当時、PTA活動も活発に展開されていたことが『学校沿革史』から垣間見えてきます。

ちなみに、平成元年3月の卒業生は合計で23人ですが、進学先は次のようになっています。

- | | | | |
|--------------------|----------------|------------|----------|
| ○串木野高校1人 | ○市来農芸高校1人 | ○吹上高校3人 | ○伊集院高校6人 |
| ○鶴丸高校1人 | ○鹿児島女子高校2人 | ○鹿児島実業高校1人 | |
| ○鹿児島電子高校（現 情報高校）2人 | ○鹿児島城西高校4人 | | |
| ○串木野女子高校（現 神村学園）1人 | ○海上自衛隊第一術科学校1人 | | |



一見して分かるおとおり、進学先がかなり多様なものとなっています。ここに至るまでの間にどのような進路指導が展開されたのか、具体を知ることはできませんが、この一事をもってしても一人一人の将来の目標や能力、適性に配慮した丁寧な指導が行われて

いたのではないかと想像できます。

実は、これから数年後の平成5年2月、中学校教育とりわけ進路指導の分野に大きな衝撃が走ることになります。突如として、当時の文部省から「業者テスト」の偏差値に依存した進路指導を行わない旨の通知が発出されたことがその発端でした。時を移さず文部省は全国47の都道府県から進路指導に携わる教員の代表を東京に集め、偏差値に過度に偏向した進路指導を改め、本来あるべき進路指導を推進するよう伝達しました。「業者テスト」の偏差値に依拠した、いわゆる「輪切りの進路指導」（出口の指導に偏った進学指導）が厳しく批判されることになり、以後「業者テスト」は学校現場から排除されることになりました。

驚くべきことに、本校は生徒が主体的に進路を考え、選択する能力や態度を育成するための教育活動の一環として、他校に先んじて平成6年から「職場体験学習」の実施に踏み切っています。刮目すべきことだと思います。本校には、生徒自身の適性や興味・関心について理解を深めさせるとともに、職業観や勤労観を育み、上級学校の学科の特色や進路状況等を計画的、継続的に学ばせる土壌が早い時期からあったのかもしれない。

ところで、山口先生の在任中、将来の土橋中学校を特色付ける一つの大きな試みが展開されています。それは、今なおその伝統が脈々と受け継がれている「合唱」の活動です。平成3年1月に、県中学校音楽コンクール「春の祭典」テブ審査に全学年が出場を果たし、翌年の同祭典では「合唱の部」で金賞を受賞しています。この輝かしい成績は、一朝一夕に成し得るものではありません。日々のたゆみない継続と努力があったからこそその結果だと思われます。当時、合唱の指導に当たっていたのは、ベテランの高崎若子先生です。『旧職員履歴』で足跡をたどると、鹿児島市内の研究校や大規模校数校を歴任されており、熟練の音楽教師だったのではないかと思います。高崎先生は、定年退職までの4年間を本校で過ごし、合唱の指導に力を尽くされました。本校においては、この時代に由来すると考えられる「朝の歌」、「夕の歌」が今でも脈々と受け継がれています。少数の編成ではありますが、文化祭などの場で堂々と歌唱に取り組みるのはこの時代を端緒としているように思います。高崎先生が先鞭をつけた「歌声の響く学校」づくりは、やがて後任の西恵子先生へと受け継がれていくこととなります。（西先生のことについては、次号で改めて触れさせていただきます。）

現在、基本的に「朝の歌」は月曜日と水曜日に、「夕の歌」は毎日実施され、音楽室に生徒全員が集って合唱活動に取り組み、文化祭や市音楽発表会、入学式や卒業式などの大きな舞台での発表を念頭に継続と努力を重ねています。文化祭などでの生徒の活躍を見るにつけ、生徒たちに挑戦したいという意欲や向上心があれば、県中学校音楽コンクール「春の祭典」への出場を視野に入れてもよいのではないかと考えるところです。

本校の歴史をひも解くと、全人教育（人間が持つ諸資質を全面的・調和的に育成しようとする教育）を基調とした教育が展開されてきたことがよく分かります。この基本姿勢は、これからも継承されるべき重要な視点だと肝に銘じているところです。



「歡喜の歌」で新入生を歓迎（入学式）

人権教室 12/4

ハンセン病問題の全面解決を目指してともに歩む会代表の松下徳二先生を講師にお招きし、人権教室を開催しました。

今回は、事前に全校朝会でハンセン病問題について、アニメを視聴しながら学習してきました。

また、学級で松下先生から頂いた資料や星塚敬愛園を題材にした人権作文を読み合わせて人権教室に臨みました。

授業後の感想から、生徒一人一人がハンセン病の問題や人権問題について真剣に考え、感じたりしていたことをうかがい知ることができました。(下は生徒の感想です)

松下さんのお話を聞いて公民の授業で習った人権とは何か差別がどのようなものだったのか改めて考えることができました。(中略)今日の日本では、コロナや外国人に対しての差別などがひどくなっています。これから私たちは過去の過ちをしっかりと伝えて二度とこんなことが起きないようにしたいと思いました。



食に関する学習 11/26

伊集院学校給食センターの西村由美子先生を講師にお招きし、本校岡村教諭が、「食」に関する授業を1年生で行いました。

「健康に成長するための食生活を考えよう」と

いう学習課題を設定し、中学生に必要な栄養素について学習し、そこで自分がファーストフードを食べるとしたときの栄養素を分析する実習を西村先生のアドバイスをいただきながら行い、偏った栄養を摂取していることに気付かされました。

「食」の大切さを実習等を通して理解することができました。



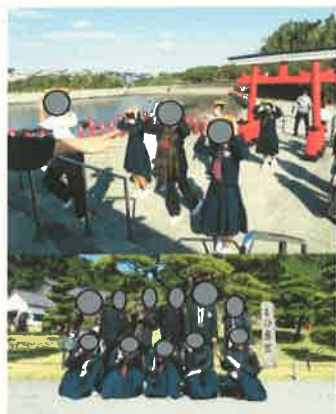
修学旅行 12/1~2

コロナ禍で、日程や旅行先の変更を余儀なくされた修学旅行でしたが、今回ようやく実現できました。

1日目はシティビューで移動しながら鹿児島島の史跡・文化・施設を散策。夜は映画に感動しました。

2日目は、貸し切りバスで南薩方面へ移動。フラワーパーク、釜蓋神社を経て水産高校へ。本校卒業生である川路雄太さんのプレゼンを聞いた

後、施設を見学しました。その後は、知覧特攻平和会館を見学、同世代の先人が命を落として戦った後に訪れた平和の大切さを改めて実感することができました。バスの中のレクリエーションで親睦を深めたりと、中身の濃い充実した修学旅行となりました。



ありがとうございます

友愛タオル贈呈

日置市高齢者クラブ連合会伊集院支部様から、今年もタオルをいただきました。大切に使用させていただきます。

卒業生寄付金

昭和50年3月卒業生御一同様と茨城県在住の卒業生の方から、英検等の奨励金に役立ててほしいという趣旨で本校に御寄付をいただきました。

本校教育活動への物心両面からの御支援に、心から感謝申し上げます。

おめでとうございます

令和2年度第2回英語検定

準2級合格 3年 内 彩音さん
3級合格 3年 稲留 秀虎さん
2年 塩向 史菜さん

日置市児童生徒読書感想文コンクール

特選 1年 宮下 瑠衣さん
入選 2年 新山 せせらさん

第2回南九州市かわなべ青の俳句大会

入選 3年 稲留 秀虎さん

租税教育
学校賞受賞
全員が税に関する作文を毎年応募している実績を認められて今回頂きました

校内持久走大会 12/12

好天に恵まれた持久走大会。

1年間の子どもの頑張りや試されました。少々緊張しながらも、小学生や保護者、地域の皆様の応援に後押しされて全員が最後まで走り抜きました。結果は、宮下瑠衣さんが1年生女子の部で20年ぶりの新記録を出したのをはじめ、全員が試走よりも良いタイムでゴール。朝のランニングの取組など日々の継続と切磋琢磨が記録を押し上げてくれました。地域・保護者・学校の協働によって素晴らしい持久走大会になりました。御声援ありがとうございました。



(生協の記録より)今日は持久走大会でした。とてもドキドキしました。私の目標は最後まで諦めないで走ることで、16分を目指すことでした。スタートして、最初の中学校の坂が本当にきついです。途中本当につらくなったけど「あきらめない」と強い気持ちを持って走りました。そしてタイムは15分06秒でした。目標よりもすごく早くて嬉しかったです。終わった後は、みんなと豚汁を食べられて幸せでした。

日	曜	1月の主な行事予定
1	金	(祝)元日 土橋地区公民館新年式典
4	月	仕事始め
8	金	始業式 身体測定 書き初め
9	土	土曜授業
11	月	(祝)成人の日
12	火	3年生実力テスト
12	火	P T A 評議員会
13	水	1・2年生鹿児島学習定着度調査(～14日)
14	木	教育相談・カウンセリング体験(2年)
15	金	巡回図書(ひよしまる)
23	土	科学の祭典日置市大会
27	水	巡回図書(ひよしまる)
30	土	県P T A 委嘱公開(東市来)